

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	26-572
研究の名称	胃癌に対する化学療法とその効果予測因子についての後方視的検討
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年 12月 31日
試料・情報の利用を開始する予定日	2026年4月22日
研究の対象	2020年1月1日から2026年3月15日までに、当院で切除不能進行・再発胃癌に対して化学療法を施行した患者を研究対象とする。なお、化学療法の治療効果が診療録から評価可能である症例を対象に含めます。
研究の目的	本研究では、進行胃癌患者において、バイオマーカーに基づき選択された化学療法の実臨床での治療成績を明らかにすることを主目的とします。あわせて、バイオマーカー情報に加えて、日常診療で取得可能な臨床・腫瘍学的因子が治療効果や予後に与える影響を後方視的に検討し、治療効果予測に寄与する要因を検証します。
研究の方法	本研究は後ろ向き観察研究として実施する予定。当院にて実施された化学療法患者について、診療録の調査を行う予定です。研究対象者の診療録（電子カルテ）を用いて、患者背景、バイオマーカー検査結果、治療内容、治療効果判定、有害事象、予後など、研究に必要な情報を抽出し、匿名化したうえで解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：該当なし 情報：診療録にて確認し得る下記のような情報を収集します 患者情報（年齢、性別等）、原疾患の情報（腫瘍の部位、転移部位・広がり）、既存の血液検査の結果や腫瘍マーカー、治療情報（化学療法の薬剤、治療ライン数、効果）、胃切除術の有無などの手術に関する情報、病理組織学的診断やバイオマーカー検査の結果、治療成績（生存期間、増悪までの期間など）等

個人情報の取扱い	患者さんの個人情報、研究登録番号を付与し対応表を用いて管理します。研究登録番号との対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。データは厳重に扱うこととし、施錠された保管庫やパスワードで管理された電子媒体等で保存します。尚、データの保管期間は「研究の終了について報告された日から5年を経過した日」とし、利用したデータは手順にのっとり適切に廃棄します。
お問い合わせ先	<当院の連絡先> 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：胃食道外科 研究責任者：原 尚志 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦 2026年 3月 15日 (1版)